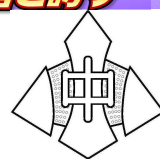


- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年10月6日(水)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

自分たちの強みと課題を明確にして次へと進め！

郡山市中学校新人総合体育大会終わる 9/28(火)～9/30(木)

3年生が引退し、1・2年生の新体制で臨んだ市新人総合大会が終了しました。今回は天候にも恵まれました。新人チームでの最初の大きな公式試合で、各種目において熱戦が繰り広げられました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加人数の制限、試合時間の短縮、無観客などの対応がとられましたが、生徒達の頑張りに大きな拍手をおくりたいと思います。

戦いの足跡

【野球(大槻中との合同)】 1回戦 VS 緑ヶ丘 2-8 敗退

【サッカー(大槻中との合同)】 1回戦 VS 郡山二・郡山六合同 0-1 敗退

【ソフトテニス男子】《団体》[予選リーグ] VS 西田学園 0-3 敗退
VS 湖南 1-2 惜敗、VS 郡山四 3-0 勝利

《個人》阿部蒼太・塩田健造ペア **ベスト32 県中出場**
黒羽怜於・馬場翔大ペア **ベスト32 県中出場**

【ソフトテニス女子】 **ベスト8 県中出場**

鈴木碧、佐藤良菜、田母神由、鈴木実来、市川梨紗子、神山咲樹
笹岡実結、舘さくら、茅原優衣、中里祐香、松坂菜瑚

《団体》[予選リーグ] VS 郡山七 1-2 惜敗
VS 郡山五 2-1 勝利

[決勝トーナメント] 1回戦 VS 郡山四 2-1 勝利
2回戦 VS 西田学園 1-2 惜敗

《個人》佐藤良菜・鈴木碧ペア **第3位 県中出場**
田母神由・鈴木実来ペア **ベスト16 県中出場**

【バレーボール女子】[予選リーグ] VS 守山 0-2 敗退
VS 富田 2-0 勝利

【バスケットボール男子】

1回戦 VS 富田 31-46 敗退

【バスケットボール女子】

1回戦 VS 郡山五 45-13 勝利、2回戦 VS 安積二 23-64 敗退

【卓球男子】 **第6位**

目黒世奈、渡邊遼晴、秋山悠仁、岡田陽真、鈴木翔太、安田隼輔
橋本大歩、村上大介

《団体》[予選リーグ] VS 日和田 3-2 勝利、VS 高瀬 2-3 惜敗

[決勝リーグ進出ステージ] VS 守山中 3-0 勝利

[決勝リーグ] VS 郡山一 3-2 勝利

VS 郡山二 3-0 勝利

VS 郡山六 1-3 惜敗

※2勝1敗が3校となり、勝ち点でリーグ内第3位

《個人ダブルス》秋山悠仁・岡田陽真ペア **第3位**



【卓球女子】第2位 県大会出場（県中地区大会は開催しない）

凌りくな、佐藤愛華、陰山杏莉、高橋穂乃佳、横田花穂
吉田茜音、吉田明愛、鈴木彩瑛

《団体》[予選リーグ] VS 郡山三 3-1 勝利

[決勝リーグ進出ステージ] VS 安積中 3-0 勝利

[決勝リーグ] VS 郡山六 3-1 勝利

VS 片平 3-0 勝利

VS 三穂田 3-0 勝利

(リーグ1位)

[順位決定戦] VS 郡山二 0-3 敗退

《個人ダブルス》凌りくな・高橋穂乃佳ペア 第2位
陰山杏莉・吉田茜音ペア 第5位

【剣道男子】《団体》予選リーグ VS 緑ヶ丘 1-2 惜敗、VS 明健 0-4 敗退

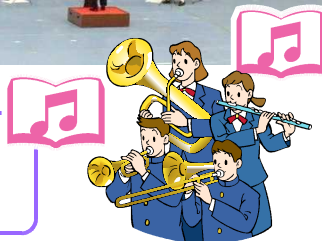


吹奏楽部“銀賞”獲得！

10月1日（金）には、第74回郡山市小中学校合奏祭《中学校の部》が開催されました。文化センターがまだ使用できず、総合体育館での異例の開催となりました。本校吹奏楽部は、宝さがしの冒険をスケールの大きな演奏で見事に表現し、“銀賞”を獲得しました。多くの3年生が部活動を引退する中、吹奏楽部は3年生を中心に練習を続けてきました。部を牽引してきた3年生に心から感謝します。生徒達の姿には達成感・満足感が感じられました。



鈴木遼介、佐藤美咲、伊東 新、間日菜乃、松崎颯志、柳沼柚羽、橋井はるか
宮田真由、江川実優、青柳樹里、伊東真登、吉田里桜、渡部有咲、柳川黎弥
伊藤実優、田谷夏妃、増子幸希、矢澤柚菜、伊東晴渡



“人間としての力”を高めるために… 大会の総括

昨年度もこの時期の学校だよりに書いた内容です。…新人総合大会、合奏祭を終え、それぞれの部が次のステージに進むために、今後の練習においては、もう一度基本に立ち返ることが必要だと思います。例えば、“走ること”で持久力や強い足腰をつくる。また、基本プレーの反復練習など、基礎固めをしっかりと行うことです。さらに、今回の戦いや演奏を振り返り、自分達の“強み”と“課題”をはっきりとさせ、これからの練習で補強・修正しながら個人の技能やチーム力を高めていくことが大切です。

そして、勝つため、記録を伸ばすため、賞をとるためだけでなく、“人間としての力”を高めるために部活動はある、ということを念頭におくことです。

“人間としての力”には、チームワーク、規範意識（ルールを守ろうとする心）、礼儀・マナー、他者を尊重し切磋琢磨しながら互いを高め合う力、忍耐力など、様々な要素があります。だからこそ、毎日の授業への取組み、挨拶や時間厳守、思いやりの心や善悪の判断に裏付けられた言動など、自分の普段の学習や生活行動が部活動にもつながっているということを忘れないでほしいと思います。

2019年、日本各地で熱戦が繰り広げられたラグビーW杯でしたが、この時の日本代表チームの合い言葉が『One Team（ワンチーム）』でした。それぞれの部が、切磋琢磨する中で仲間との絆を強め、ひとつのまとまったワンチームとして成長し続け、人間としての力を高めていくことを期待しています。



保護者の皆様へ

今回も子ども達の頑張る姿をお見せできなくて残念でした。しかしながら、離れた場所からの心の応援は生徒達にしっかり届き、大きなエネルギーになったと思います。そして、保護者の皆様には日頃から温かい応援やご支援をたくさん頂いておりますことに心より感謝いたします。

新チーム・新体制での戦いはこれから続きます。そして、子ども達の晴れ舞台をご覧いただける時はきっとやって来ると思います。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

